

# 県産水産物の輸出拡大に向けた取り組み

## 背景

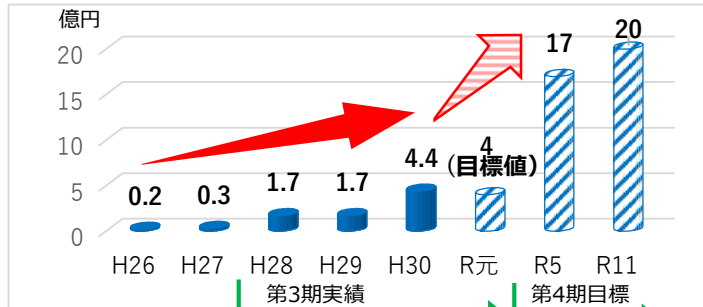
人口減少や少子高齢化に加え、国内では水産物の消費は減少傾向。海外では新興国の経済発展や欧米での健康志向等による水産物の需要が拡大しており輸出を推進。

## 概要

- ・県産水産物の販路開拓を目指す高知県水産物輸出促進協議会（平成28年3月設立、漁協・水産加工会社・物流業者で構成）等と連携。
- ・これまで取り組んできたシンガポールやベトナム等での販路開拓・拡大の取り組みを継続するとともに、R2年度は、新たに大規模市場での認知向上や販路開拓を強化する。
- ・併せて、輸出拡大に向け海外ニーズに即した養殖魚の生産拡大など産地力の向上に取り組む。

## これまでの取り組みと成果

### 〇水産物輸出額の推移・目標



※出典：H26～H30実績 高知県の貿易、財務省貿易統計  
(R元以降の目標は、高知県の貿易を参考)

- ・第1ステージ(H28～)では、輸入規制のハードルが低い東・東南アジアから取り組みを開始
- ・H30の水産物輸出額は4.4億円で、目標の2億円を大幅に上回った

### ➢輸出に対応した水産加工施設が完成

- ・輸出に対応した県内最大規模の水産加工施設が宿毛市に完成 (H31.3)
- ⇒養殖クロマグロの輸出が拡大



### ➢米国向けHACCP取得に向けた取り組みが進展 (2社)

### ➢流通・輸出拠点漁港 (田ノ浦) において輸出拡大に向けた市場機能の強化に着手

### 【主な成果】

- ・国毎に商社等との商流が構築できつつある
- ・輸出に積極的な県内事業者の経験値もあがり、一定のノウハウが蓄積されつつある
- ・輸出に対応した水産加工施設の完成や米国向けHACCP取得が進展し、大規模市場へのアプローチを開始

## 課題

- ◆県産水産物の販路開拓が期待でき、かつ県内企業の要望が強い新たな市場開拓
- ◆これまで取り組んできた市場でのさらなる販路の拡大
- ◆輸出拡大に向けた市場や水産加工施設の高度な衛生管理体制の構築

加えて、輸出の取り組みをさらに加速化するためには

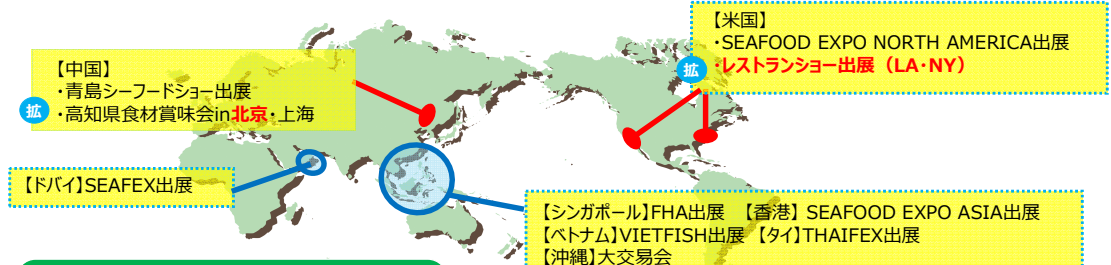
海外でニーズの高い大型養殖ブリの生産を増やし輸出していくことが必要

- ・海外で関心の高いトレーサビリティ・サステナビリティの面から人工種苗による養殖ブリを核とした輸出に取り組む必要がある

## R2年度の取り組み

### 大規模市場への取り組みを強化

- ・東南アジア等での販路開拓・拡大に向け、引き続き見本市への出展やアフターフォローの取り組みを支援
- 【拡】大規模市場 (中国、米国) での県産食材の認知向上に向けた賞味会の開催や販路を開拓するための見本市への出展等を支援



### 輸出に向けた養殖魚の生産

- 【新】海外で需要の高い大型の養殖ブリ (5kg以上) の生産量増加に向け、早期採卵人工種苗による養殖生産を支援

### 高度な衛生管理体制の構築

- ・流通・輸出拠点漁港 (田ノ浦) において鮮度保持に必要な製氷・貯氷施設を整備 (R2完成予定)
- ・水産加工施設の輸出に対応した衛生管理の高度化を支援

産地を強化し、販路開拓・拡大